

愛知県では、中国江蘇省との経済連携協定に基づき、江蘇省に進出している県内企業支援のため、「愛知県江蘇省サポートデスク」を運営しています。

私共、上海納克名南企業管理諮詢有限公司が愛知県から業務委託を受け、2023年度の運営業務を担っております。

進出企業の皆様の関心があると思われる内容につき、今年度 9 回目となるメールマガジンを配信させていただきます。

最後までお読みいただければ幸いです。

---

愛知県江蘇省サポートデスク メールマガジン 2023 vol.9

「12月22日 意見交換会 開催報告」

---

12月22日、愛知県進出企業の皆様を対象に意見交換会を実施しましたので、報告させていただきます。意見交換会は、今年度に入り、3回目の開催となります。

また、今回は、Microsoft Teams を活用し、会場参加と web 参加「ハイブリッド型」にて開催し、web 参加 7 名、会場参加 9 名の方の参加を頂きました

意見交換会は第一部が講師を招いてのセミナーと、第二部が参加企業の皆様による意見交換会の 2 部構成として進めさせていただきました。

今回のセミナーは、上海納克名南企業管理諮詢有限公司 蘇州事務所所長 原より「中国会計税務 2023 年アップデートと留意事項」というテーマにて、講演させていただきました。企業所得税、増値税、個人所得税、配当・減資等の日本への送金という大分類に分けて、説明させていただきました。

講義の中で、各種優遇政策の延長について、取り上げております。企業所得税については、小型薄利企業の所得税優遇政策（資産総額 5,000 万元以下、従業員 300 人以下、課税所得 300 万元以下を全て満たす場合に企業所得税が 5%となる）、個人所得税については、年 1 回賞与の特例計算及び外国籍個人の補助・手当に対する優遇措置がそれぞれ 2027 年 12 月 31 日まで延長されています。ともに期限設定のあったものが延長を繰り返している状況であり、中国経済に対する支援措置の一環という位置づけとなります。事業計画を検討する際に、ぜひご留意くださいませ。

また、発票については、23 年にデジタル発票に関する公告が発表されており、そちらについても取り上げております。このデジタル発票の導入に伴い、①紙の発票、②電子発票、③デジタル発票と 3 種類の発票が存在することとなります。こちらの 3 種類ですが、発票台紙の受領、発行限度額、発行経路等、それぞれに違いが生じております。最終的には③へ収斂していく流れだと思いますが、財務担当の方とも相談のうえ、自社にとって望ましい発票の発行方式を検討いただければと思います。

後半の意見交換会では、銀行送金、渡航に必要なビザ及び中国の非居住者が過去に開設した中国の国内口座の取扱い等につき、意見交換を行いました。銀行送金については、配当や立替金の送金について、話していましたが、外貨管理規制の厳しい中国においては、制約が多いことを再認識された参加者も多いのではないのでしょうか？渡航に関するビザについては、Mビザ、APEC ビジネストラベルカード、トランジットビザ、アライバルビザによる入国が可能である旨共有されていました。中国の非居住者が過去に開設した中国の国内口座の取扱いについては、以前は短期出張者でも中国国内口座の開設が簡単であったため、中国の非居住者でも開設されている方は多いと思います。一方で、コロナにより、渡航できず、利用実績がなくなってしまう、凍結扱いとなっている口座も多いと推測しています。凍結を解除することは渡航すれば出来そうですが、新たに口座開設を行う必要もあるため、中国の非居住者の場合はそもそも新規口座の開設が認められず、口座内の資金移動は難しそうという話になりました。

また意見交換会後は、希望者による懇親会を開催しました。業務上のこと、生活のこと、多々情報交換をしていただけたものと思います。このような活動を通じて、愛知県の江蘇省進出企業のネットワーク構築の一環となれば幸いです。

-----

今回は、2019年12月に常州で開催して以来、久しぶりの蘇州以外での開催となりました。これまでWebにて参加頂いていた方にもご参加いただき、大変よい機会になったと思っております。今後も、蘇州での開催をベースとしつつ、他エリアでの開催も検討していきたいと思っております。

次回の意見交換会は3月を予定しております。詳細が決まり次第、案内させていただきます。皆様の参加をお待ちしております。